

CASBEE[®]-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	158棟	階数	地上2F
建設地	兵庫県丹波篠山市日置字大水口25	構造	S造
用途地域	都市計画区域内(区域区分非設定)	平均居住人員	55 人
地域区分	5地域	年間使用時間	5,400 時間/年(想定値)
建物用途	工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年1月 予定	評価の実施日	2024年10月25日
敷地面積	104,119 m ²	作成者	菖蒲 洸希
建築面積	2,100 m ²	確認日	2024年10月25日
延床面積	3,723 m ²	確認者	片桐 孝展

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE =0.8

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

環境効率 BEE = 環境品質 Q / 環境負荷 L

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア= 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.5

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 1.7

LR 環境負荷低減性

LR のスコア= 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア=3.3

3 設計上の配慮事項		
総合 室内製造環境維持の為、耐用年数・信頼性および対応性・更新性向上に努めた。		その他 特になし。
Q1 室内環境 全般照明方式にて、主要居室では照度を500lx以上に設定することで快適な作業環境を確保している。	Q2 サービス性能 設備スペースを含めた十分な階高と荷重を確保。	Q3 室外環境 (敷地内) 敷地内に十分な緑地を確保した。 窓ガラスの少ない建屋とし、建屋外への光の漏れを軽減した。
LR1 エネルギー LED照明器具を採用する。	LR2 資源・マテリアル 仕上げ材と構造材が容易に分別可能な仕様を採用する。 有害物質を含まない材料選定を行う。	LR3 敷地外環境 窓ガラスの少ない建屋とし、屋外看板(広告物)など設置していない。 適切な処理の上、排水の計画を行った。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される